

タイトル

ミュシャ展 - 運命の女たち -

鑑賞日時

8月

鑑賞施設名

鹿児島市立美術館

アロニス・ミュシャ

(1860-1939)

- ・現・チェコ共和国の小さな街イヴァンチェ生まれ。
- ・27歳でパリに渡る。
- ・花や女性をテーマした優美な作品で有名。

音楽の才能もあつた!



ポスター「黄道十二宮」(1896年)

民族的衣装や流れる特徴的な髪デザインも。



「粗国「スラヴ」の人々の為に美術を!!」

→『スラヴ叙事詩』の制作
(スラヴの歴史や文化がテーマの6m×8m, 計20点の絵画。16年かけて完成。)



そのために、各地で展覧会を開いて資金集めをした。

..(感想)..

- ・ほとんどの絵がリタグラフ、つり多色石版画ということに驚いた。細かい...
- ・とにかく色のセンスがすごい!
- 細かい絵でもごちゃごちゃしてない。
- ・線で影と光が表現されているものがあって、立体感、質感の表現が上手だと思った。
- ・邪魔をしない、それぞれを引立てるバランス。



—((サラ・ベルナール))—

- ↳ パリの大女優。6年間ミュシャが専属絵師を務める。演劇のために描いたポスターが、ミュシャをポスター画で有名にした。

—((写真))—

- 写真を撮ることも好んで、モデルの写真撮って、絵を描くこともあった。

〈レポートについて〉 夏季休業中に、県その感想をレポート紙に自由に構成。

るいはそれに類する施設の作品展を鑑賞して、の感想、③写真資料やスケッチ等

鹿児島市立美術館

〒892-8653 鹿児島市城山町4-36 Tel.099-224-3400

http://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum

